

研究分野		授業科目名		科目責任者
形態系分野		消化器侵襲的画像診断治療学研究		河本 博文
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
低侵襲治療のために消化器領域の診断治療で現在行われている、あるいは、これから行われる Intervention の有用性を評価する能力を修得する。				
授業到達目標				
(1) 臨床研究の手法を学び、それぞれの手法を説明できる。 (2) 多施設共同研究に参加して、研究の進め方、プロトコルの書き方を学び、自分で研究を立案できる。 (3) 臨床研究を主導することができる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	木	13:30 - 14:30	河本 博文 川中 美和 未廣 満彦 浦田 矩代 谷川 朋弘 西野 謙	(1) 消化器疾患の診断治療における Intervention の最新情報について (2) 臨床研究施行のためのプロトコル作成について
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
中間発表の抄録作成時に、指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9784758110648, 胆膵内視鏡の診断・治療の基本手技 (改訂3版), 糸井隆夫, 羊土社, 2017				
参考書				
ISBN-9784883787098, とことん知りたい ERCP の手技のコツ (消化器内視鏡レクチャー1巻3号), 糸井隆夫, 総合医学社, 2013 ISBN-9784758110464, 胆膵内視鏡治療手技の極意とトラブルシューティング, 小池和彦 (監), 羊土社, 2012				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 関連する手技の論文を毎週授業前に必ず複数読んでおくこと。(2時間程度) (2) 最新の手技は単に教科書を読むだけでなく、実技の補助にまず参加し、方法や使用するデバイスについて十分理解すること。更に毎週の授業後も復習を行うこと。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
卓越した内視鏡技能, 臨床研究作成および実践能力, 論文作成能力を獲得する。				
注意事項・メッセージ				
最新の英文論文を読んで常に知識をアップデートしておくこと。				